

子育てを変える！！



子育て環境を変えることは、人口減少対策の最重要課題と考えます。
この街の将来を担う子どもたちをみんなで支えていかねばなりません。

一方、女性の社会進出で、子育て環境は一変し、共働きで子育てをするというモデルは標準的な子育てスタイルになっています。

■保育環境の大幅拡充

まず、「保育園に入れない問題」を解消するべく保育園の空き状況をリアルタイムで公開し、届け出関係書類の電子化を進めるなど保育園入所に伴う保護者の負担軽減を進めます。また、病児保育の深刻な不足に対して、各行政区に最低1か所の病児保育所の設置を徹底し、保育中の急な発熱にも病児保育所までの送迎サービスを実施、診断書なしでも預けられるようにルールを変え、育児環境の向上を進めます。保育と仕事の両立ができる環境整備を進めます。同時に、長年、お迎えの際の不満材料だった保育園の「オムツお持ち帰り」についても全面的に撤廃し、園と保護者の負担軽減を進めます。

■塾いらずの公教育の実現

「塾に行かないとついていけない、高校に入れない」といった声は後を絶ちません。義務教育とは小中学校の教育課程を修了させて世に送り出すシステムです。「塾に行かない」というのは既に公教育が役割を果たせていないことを意味します。教師の義務負担を軽減、塾講師の出張補習など民間の力も総動員し、補習や復習といった底上げ教育を手厚くフォローし、中学校卒業程度の学力を保証する教育の実現を図ります。また、教育の地域格差を是正すべく、これまでの一部モデル校（御所南小、堀川高校など）に極端な予算配分をする方式から、市内全体の底上げに予算を配分していきます。

■児童館・学童保育の全小学校区設置

現在、市内の児童館は130館で、新規建設はしない方針です。そのため、未設置学区は永遠にそのサービスを利用することができません。

学童保育ニーズも年々高まり、保護者にとって児童館・学童保育の存在は決して小さくありません。この不公平感をなくし、等しく行政サービスが享受できるように全小学校区設置を進めて参ります。

■子供の遊び場の確保

全区役所・支所に一時預かりできるプレイルームを設置、また、全行政区に「子ども未来館」を設置し、子育ての負担軽減と乳幼児の遊び場の確保に努めます。

また、街の公園で子どものボール遊びを解禁し、自転車の練習もできるようにします。

◎子どもの遊べる場所を増やします。



街の公園でのボール遊びの復活

◎小中教育の底上げのため、教師の雑務軽減、補習の充実、塾講師の出張授業など、塾いらずの公教育をすすめます。

目指せ！
塾いらずの公教育



◎学校間の格差を是正し、全体の底上げをすすめます。



保育園



児童館



“京都を未来の子ども達にも活気のある住みやすい街にしたい”との思いから立ち上がりました！
よろしく願います！！

京都市議員 TEL 075-354-6225
江村りさ事務所 FAX 075-384-0202
E-mail emurar@nifty.com HP http://www.emurarisa.jp/